■教育職員免許状取得に関する科目の単位履修について

幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭及び養護教諭・栄養教諭を目指すには、教育職員免許状の取得が必要である。

教育職員免許状を取得する場合は、社会において教育がいかに重要であるかを深く認識し、絶えず自らの 資質能力の向上に努めるよう、強い意思と決意をもって臨むことが大切である。

履修に当たっては、教員としての基礎的・基本的資質能力を養い、教育者としての使命感、人間的成長・発達に関する深い理解、幼児・児童・生徒に対する教育的愛情及び教科等に関する専門的知識、豊かな教養、実践的指導力などを培わねばならない。

更に、「教育の基礎的理解に関する科目等」や「教科及び教科の指導法に関する科目」を積極的に選択履修し、自らの得意分野をつくり、個性の伸長を図ることも肝要である。

また、刻々と変化する現代社会をたくましく生き抜き、常に広い視野と深い洞察力をもって行動できる人間であることも教員として求められている。

以上のような教員としての資質能力を養い、絶えずその向上に努めることを望む。

教育職員免許状の取得を希望する者は、次の要件を満たしていること。

- ① 教員になることを強く志望する者。
- ② 全学共通科目のうち、教育職員免許状を取得するための必修科目(日本国憲法/体育/外国語コミュニケーション/数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作)を原則としてすべて修得していること。
- ③ 3年次後期まで(看護学部においては2年次後期まで)に開講する「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「教科及び教科の指導法に関する科目」の『各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)』を原則としてすべて修得していること。
 - ・幼稚園教諭は「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の『保育内容の指導法(情報機器及び教 材の活用を含む。)』を原則としてすべて修得していること。
 - ・養護教諭は「養護に関する科目」を原則としてすべて修得していること。
 - ・栄養教諭は「栄養に係る教育に関する科目」を原則としてすべて修得していること。
- *教育実習については、各学科の特徴に応じてそれぞれ制限規定を設ける。詳細については、学科頁を参照すること。

本学の各学科において取得できる教育職員免許状の種類

学	拉口	部		学			科		免 許 状 の 種 類	教科
									中学校教諭一種免許状	国語
			日本文学科高等学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状	国語 書道				
文	文 学 部	部							中学校教諭一種免許状	国語
	7	пр	書	道	文	化	学	科	高等学校教諭一種免許状	国語 書道
			国	際	文	化	学	科	中学校教諭一種免許状	英語
		凹	际	<u>X</u>	76	子	高等学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	英語	
奴础		立7	経	営	情	報	学	科	高等学校教諭一種免許状	情報 商業
在名	信報学	山)	メ	ディ	ア	情	報 学	科	高等学校教諭一種免許状	情報 商業
			健	康	栄	養	学	科	栄養教諭一種免許状	
生剂	舌 科 学	部	児	-	許	当		科	幼稚園教諭一種免許状	
			" 児 童 学 科		11	小学校教諭一種免許状				
看	看 護 学 部		看	9	護	学	•	科	高等学校教諭一種免許状	看護
/11	成 于	יוני	/目	F	IX		-	17	養護教諭一種免許状	

■教育職員免許状を取得するためには

基礎資格として、学士の学位を有すること。かつ、下記の科目①~⑦を修得していること。

- ①「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」(下記※1参照)
- ②「教育の基礎的理解に関する科目等」
- ③「教科及び教科の指導法に関する科目」
- ④「領域及び保育内容の指導法に関する科目」(幼稚園教諭)
- ⑤ 「養護に関する科目 (養護教諭)
- ⑥「栄養に係る教育に関する科目」(栄養教諭)
- ⑦「大学が独自に設定する科目」
 - ●小学校教諭免許状及び中学校教諭免許状取得希望の場合(下記※2参照)

「介護等体験」(7日間)

「介護等体験事前事後指導」(2単位)を修得すること。

●栄養教諭一種免許状取得希望の場合

「管理栄養士免許を有する者」又は「管理栄養士養成施設の課程を修了(国家試験受験資格に必要な科目をすべて修得している)し、栄養士免許を有している者」であること。

※1 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法で定められた科目の他に下記科目の単位を修得しなければならない。

規則に定める科目	最低修得 単位数	本学開講科目	単位	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	2	
体育	2	健康スポーツ	2	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2	全学共通科目にて開講
**************************************		AI・データサイエンス入門	2	
数理、データ活用及び人 工知能に関する科目又は	2	情報リテラシー	2	
工加能に関する行目とは 情報機器の操作	2	パソコン基礎演習	2	経営情報学部メディア情報学 科は学科専門科目として開講

※2 介護等体験

「介護等体験特例法」により小・中学校教諭の普通免許状を取得するためには、「特別支援学校」及び「社会福祉施設その他の施設」において7日間の介護等の体験に参加することが義務付けられている(体験先より発行された証明書の提出が教育職員免許状申請の必須条件である)。

介護等体験を希望する学生は参加のための条件として、介護等体験実施の前年度に開講される集中講義 「介護等体験事前事後指導」(2単位)を受講し、介護等体験終了後に事後指導を受けなければならない。

■教育職員免許状交付申請

教育職員免許法に定められた諸条件及び本学の履修条件を充足し、各該当の教育職員免許状の授与資格 を得た者は、所定の手続きにより徳島県教育委員会へ申請し、免許状が授与される。

本学では、大学で申請書類をとりまとめて徳島県教育委員会に申請する「一括申請」の方法をとっている。一括申請手続き説明会の期日や詳細は、その時期にポータルにて連絡する。

ただし、一括申請手続き説明会を欠席した場合や免許状申請に必要な条件が充足されなかった場合には、 一括申請をすることができない。一括申請を行わなかった者については、卒業後に教育委員会に各自で申 請すること。

徳島県教育委員会へ大学から一括申請(卒業学年の1月)

説 明 会:卒業学年の11月下旬~12月初旬

申請の条件: 4年以上の在学 卒業単位及び免許科目の単位修得見込

免許の受領:卒業式当日 授与権者:徳島県教育委員会

授与年月日:卒業日(3月16日)

■「教職実践演習」と「履修カルテ」の作成について

教職実践演習について

「教職実践演習」とは、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめとして 位置付けられた科目である。この科目は、4年次後期に開講される演習科目で、これまで以上に教員とし ての資質が問われる内容となっている。

また、「教職実践演習」を履修するには、「履修カルテ」の作成及び提出が必須条件となっている。

履修カルテの作成について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、入学してから教職実践演習の授業を受ける4年前期までの間に、各自で「履修カルテ」を作成しなければならない。

「履修カルテ」とは、自分が教職課程の授業の中で何を学んだのかを振り返るとともに、今後どのような学習が必要なのかを自ら考えるための手がかりにしてもらうためのものである。

教職実践演習の授業開始までに履修カルテが整っていない場合は、授業を履修することができないので、 注意すること。

履修カルテの種類について

履修カルテは、2種類ある。

● **履修カルテ**① (教育職員免許状取得に必要な科目の履修状況)

「履修カルテ①」は、教育職員免許状取得に必要な科目の履修を始めてから単位を修得した全ての科目について、各学年の学期毎に記入するものである。教職に関する学外実習・ボランティア経験等の実施状況欄には、「教育ボランティア」「介護等体験」「教育実習」などで経験した活動について、実施状況、学んだこと、今後の課題について記入すること。

複数の種類・教科の免許状を取得する場合は、学校種ごと、あるいは教科ごとにカルテを作成すること。

- (注1) 幼稚園と小学校の免許状を取得する場合は、幼稚園と小学校のそれぞれの「履修カルテ①」 を作成すること。
- (注2) 中学校(国語)と高校(国語)の免許状を取得する場合は、中・高同一の「履修カルテ①」 を作成すること。

● 履修カルテ②(自己評価シート)

「履修カルテ②」は、教員として必要な資質・能力について、授業・教育実習・介護等体験等の課外 活動を通して身に付いているか振り返りながら自己評価を行うものである。

各年度の学年末に、それぞれの項目毎に5段階で自己評価を行う。教職を目指す上での課題を明確に 記入すること。

■教職課程修了に必要な要件

(教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則による)

						*教職に関 (単位数)		左欄の	免許法 施行規	
学	学部・学科等	免許状の種類	免許教科	基礎資格	教科及び教 科の指導法 に関する科目	教育の基礎 的理解に関 する科目等	大学が独自 に設定する 科目	合計(単位数)	則第66 条の 6 に定め る科目	介護等体験 要・不要
		中学校教諭 一種免許状	国語		28	27	4	59		0
	日本文学科	高等学校教諭 一種免許状	国語	本学の卒業要件を満たすこと	24	23	12	59		
文		高等学校教諭 一種免許状 書:	書道		24	23	12	59		
31/4		中学校教諭 一種免許状	国語		28	27	4	59		0
学	書道文化学科	高等学校教諭 一種免許状	国語	本学の卒業要件を満たすこと	24	23	12	59	「日本国	
部		高等学校教諭 一種免許状	書道		24	23	12	59	日本国憲法」	
	国 哪 卡 (1, 24.4)	中学校教諭 一種免許状	英語	本学の卒業要件	28	27	4	59		0
		高等学校教諭 一種免許状	英語	を満たすこと	24	23	12	59	及び人工に	
経	夜兴桂却兴利	高等学校教諭 一種免許状	情報	本学の卒業要件	24	23	12	59	夕活用及び人工知能に関する科目又は情報2単位、「体育」2単位、「外国語コミュニ	
営情	経営情報学科	高等学校教諭 一種免許状	商業	を満たすこと	24	23	12	59	関するが位、「外	
報学	メディア	高等学校教諭 一種免許状	情報	本学の卒業要件	24	23	12	59	外国語コミ	
部	情報学科	高等学校教諭 一種免許状	商業	を満たすこと	24	23	12	59	情報機器	
生活科	健康栄養学科	栄養教諭 一種免許状		本学の卒業要件 を満たし、 管理栄養士養成 施設の課程を修 了し、栄養士免 許を受けている こと	4	18		22	 おの操作」2単位、 1ション」2単位、	
学部	一種免許状			本学の卒業要件	16	21	14	51		
	児 童 学 科	小学校教諭 一種免許状		を満たすこと	30	27	2	59		0
看護	主 非 兴 和	高等学校教諭 一種免許状	看護	本学の卒業要件	24	23	12	59		
看護学部	看護学科	養護教諭 一種免許状		を満たすこと	28	21	7	56		

*各科目の履修方法は、各学科頁を参照すること。

日本文学科

中学校教諭一種免許状 (国語)

	施行	規則に定める科目区分等	左記に	対応す	- る本学必修	
科	目	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	3年前期	
	教 育	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	2年後期	
(ア)	の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	4年前期	
教育	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学	2	3年後期	
の	る科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
基礎		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを 含む。)	教育課程論	2	3年前期	
逆		道徳の理論及び指導法	道徳教育	2	3年前期	
的	上 道	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3年後期	
理	徒德、	特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
解	生徒指導、教育相談等に関道徳、総合的な学習の時間	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	3年後期	情報通信技術を活用し た教育の理論及び方法 を含む
に関	相談等に	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法				
す	す等るの	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	3年前期	進路指導及びキャリア 教育の理論及び方法を 含む
る科	計導法及び	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	3年後期	
目目	<i>O</i>	進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法				
等	教		教育実習 I	2	4年前期	
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2	4年前期	
	既に関		教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	する私	学校体験活動				
	17 目	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	4年後期	
			計	31		
						

	施		左記に対応する本学対	·応科目		
科		各科目に含めることが	授 業 科 目	単位	立数	備考
区	分	必要な事項	汉 未 们 日	必修	選択	加 与
	教	国語学(音声言語及び文章表現 に関するものを含む。)	基礎日本語学 I (国語表現法を含む) 基礎日本語学Ⅱ(音声言語を含む) 日本語文法論 日本語史	2 2	2 2	
(1) 教科及び教科の	科に関する専門	国文学(国文学史を含む。)	日本文学概説 古典文学史 近現代文学史 基礎講読古典文学 基礎講読近現代文学 古典文学演習 I 古典文学演習 I 近代文学演習 近代文学講習	2 2 2 2 2 2	2 2 2 2	
の指導は	的事項	漢文学	中国文学講読 中国文学研究 中国文学演習	2	2 2	
法に関す		書道(書写を中心とする。)	<u>楷書法</u> 行書法 書写教育概論	1 2	1	
する科目	目	科及び教科の指導法に関する科 における複数の事項を合わせた 容に係る科目				
		- 教科の指導法(情報通信技術 活用を含む。)	国語科指導法(基礎) 国語科指導法 I 国語科指導法 II 国語科指導法 II 国語科指導法 IV	2 2 2 2 2		
			計	29	17	

	左記に対応する本学対応科				
施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位	立数	開講期	
		必修	選択		
(ウ) 大学が独自に設定する科目	介護等体験事前事後指導	2		2 年後期	

(エ)施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備考	
(工)旭11規則第00条のもに定める秤目	取以修行中世级	平子用再行日	必修	選択	加 号	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目	
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2			
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	AI・データサイエンス入門		2	いずれかを	
科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2	選択必修	
참	8	計	6	4		
įή	0	μΙ	8以上			

(ア) + (イ) + (ウ) + (エ) 合計 70単位以上

日本文学科

高等学校教諭一種免許状 (国語)

	施行	規則に定める科目区分等	左記に対	対応す	る本学必修	※ 科目
科	目	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	3年前期	
	教 育	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	2年後期	
(ア) 教	の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	4年前期	
育	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学	2	3年後期	
の基	る科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
礎的		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	3年前期	
理	止、米	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3年後期	
解	生徒、	特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
に	生徒指導、教道徳、総合的	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	3年後期	情報通信技術を活用した教 育の理論及び方法を含む
関す	育 相 談 習	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法				
る	等に関すの時間等	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	3年前期	進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法を含む
科目	る科目 の指導法及び	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	3年後期	
等	及 び	進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法				
			教育実習Ⅱ	2	4年前期	
	関教育	教育実習	教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	関する科目	学校体験活動				
	□ (~	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2	4 年後期	
			計	27		

	施		左記に対応する本学対	応科目			\neg
	目分	各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位 必 修	立数 選 択	備考	
	教科	国語学(音声言語及び文章表現 に関するものを含む。)	基礎日本語学 I (国語表現法を含む) 基礎日本語学 II (音声言語を含む) 日本語文法論 日本語史	2 2	2 2		
(イ) 教科及び教科の指導法に	に関する専門的事項	日本文学概説 古典文学史 近現代文学史 基礎講読古典文学 基礎講読古典文学 基礎講読近現代文学 古典文学演習 I 古典文学演習 I 古典文学演習 I 近代文学演習 I		2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2		
関す		漢文学	中国文学講読 中国文学研究 中国文学演習	2	2 2		
る科目	目	科及び教科の指導法に関する科 における複数の事項を合わせた 容に係る科目					
		- 教科の指導法(情報通信技術の i用を含む。)	国語科指導法(基礎) 国語科指導法 I 国語科指導法 II	2 2 2			
			計	22	16		
				321	以上		

(内) 佐奈田川笠CC久のCに合めて利日	是低极组出估数	本学開講科目	単位	 立数	- 備 考	
(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数	平子用 再行日	必修	選択		
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目	
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は	
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	AI・データサイエンス入門		2	いずれかを	
科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2	選択必修	
라	0	計	6	4		
計	8		8以上			

日本文学科

高等学校教諭一種免許状 (書道)

	施行	規則に定める科目区分等	左記に対	対応す	る本学必修	§科目
科	目	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	3年前期	
	教育	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	2年後期	
(ア) 教	の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	4年前期	
育	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	 教育心理学 	2	3年後期	
の基	る科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
礎的		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	3年前期	
理	止、 岩	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3年後期	
解	生徳、	特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
に	生徒指導、教道徳、総合的	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	3年後期	情報通信技術を活用した教 育の理論及び方法を含む
関す	教育相談第	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法				
る	等に関す1の時間等	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	3年前期	進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法を含む
科目	る科目 の指導法及び	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	3年後期	
等	及 び	進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法				
			教育実習Ⅱ	2	4年前期	
	関する科目	教育実習	教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	お践り	学校体験活動				
	□ (~	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2	4年後期	
			計	27		

	が	施行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学対	応科目		
科	目	各科目に含めることが	授 業 科 目	単位	立数	備考
区	分	必要な事項	汉 未 们 日	必修	選択	/m 45
	教	書道(書写を含む。)	楷書法 行書法 書写教育概論	1 1 2		
(イ) 教	科に	書道史	中国書道史 日本書道史	2 2		書道文化学科 開設科目
科及び教	関する	「書論、鑑賞」	<u>鑑賞 (書論を含む)</u> 日中比較文化演習 日本美術史	2	2 2	書道文化学科 開設科目
科の指導法に関する	。 専 門 的 事 項	「国文学、漢文学」	日本文学概説 古典文学史 近現代文学史 基礎講読古典文学 基礎講読近現代文学 古典文学演習 I 古典文学演習 I 近代文学演習 近代文学講読 (児童文学を含む) 中国文学講読	2 2 2 2 2 2	2 2 2 2	
科目	教科及び教科の指導法に関する科 目における複数の事項を合わせた 内容に係る科目					
		S教科の指導法(情報通信技術の S用を含む。)	書道科指導法 I 書道科指導法 II	2 2		高一種(国語)を取得し ない場合は、書道文化学 科の「書道科指導法(基 礎)」を必ず履修すること。
			 計	26	12	
				32J	以上	

(内) 按征相則勞66条の612点以7利日	是低板组出位粉	最低修得単位数 本学開講科目		 立数	備考	
(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	取低修行单位数 本子用講科日		必修	選択	加 号	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目	
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2			
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	AI・データサイエンス入門		2	いずれかを	
科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2	選択必修	
計	8	計	6	4		
нΙ	0	п	8以上			

書道文化学科

中学校教諭一種免許状 (国語)

	施行	規則に定める科目区分等	左記に	対応す	- る本学必修	·
科	· []	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	3年前期	
	教育の	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	2年後期	
(ア) 教	教育の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	4年前期	
育	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学	2	3年後期	
の	科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
基礎		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	3年前期	
的		道徳の理論及び指導法	道徳教育	2	3年前期	
理	生道	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3年後期	
解	工徒指導、数	特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
に	導、教育総合的な	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	3年後期	情報通信技術を活用した教 育の理論及び方法を含む
関	教育相談等は	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法				
する	に関する時間等の	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	3年前期	進路指導及びキャリア 教育の理論及び方法を 含む
科目	科目となび	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	3年後期	
等		進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法				
	教育		教育実習 I	2	4年前期	
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2	4年前期	
	に関		教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	する	学校体験活動				
	目	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2	4年後期	
			計	31		

	施	行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学対	応科目		
科区		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位 必 修	立数 選 択	- 備 考
	教	国語学(音声言語及び文章表現 に関するものを含む。)	基礎日本語学 I (国語表現法を含む) 基礎日本語学 II (音声言語を含む) 日本語文法論 日本語史	2 2	2 2	
(イ) 教科及び教科(科に関する専門	国文学(国文学史を含む。)	日本文学概説 古文講読 古典文学史 近現代文学史 基礎講読古典文学 基礎講読近現代文学 日本古典文学演習 I 日本古典文学演習 I 近代文学演習	2 2 2 2	2 2 2 2 2	
の指導法	1 的 事 項	漢文学	漢文基礎 中国文学講読 中国文学研究 中国文学演習	2	2 2 2	
に関す		書道(書写を中心とする。)	漢字書法 I (楷書) 漢字書法 I (行書) 書写教育概論	1 1 2		
る科目	教科及び教科の指導法に関する科 目における複数の事項を合わせた 内容に係る科目					
		教科の指導法(情報通信技術の 用を含む。)	国語科指導法 I 国語科指導法 II 国語科指導法 III 国語科指導法 IV	2 2 2 2		高一種 (書道) を取得しない場合は、日本文学科の「国語科指導法(基礎)」を必ず履修すること。
			計	26 28J	20 以上	

	左記に対応する本学対応科	斗目		
施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位	立数	開講期
		必修	選択	
(ウ) 大学が独自に設定する科目	介護等体験事前事後指導	2		2年後期

(エ)施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備考	
(工) 施打規則第00条のもに定める秤目	取囚疹行事也数	平子用 再行日	必修	選択	加 考	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目	
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は	
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	AI・データサイエンス入門		2	いずれかを	
科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2	選択必修	
計	8	計	6	4		
рi	0	#I	8以上			

(ア) + (イ) + (ウ) + (エ) 合計 69単位以上

書道文化学科

高等学校教諭一種免許状 (国語)

	施行	規則に定める科目区分等	左記に対	対応す	る本学必修	5 科目
科	目	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	3年前期	
	教育の	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	2年後期	
(ア) 教	の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	4年前期	
育	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学	2	3年後期	
の基	る科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
礎 的		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	3年前期	
理	止、宋	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3年後期	
解	生徳、	特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
に	生徒指導、教育道徳、総合的な	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	3年後期	情報通信技術を活用した教 育の理論及び方法を含む
関す	育 相 学 習	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法				
る	等に関する時間等	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	3年前期	進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法を含む
科目	る科目 の指導法及び	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	3年後期	
等	及 び	進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法				
		教育実習	教育実習Ⅱ	2	4年前期	
	関する科目	秋月天白 	教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	お践り	学校体験活動				
	□ (~	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2	4年後期	
			計	27		

	施	i行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学対	応科目		
	目分	各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位 必 修	選 択	備考
	教	国語学(音声言語及び文章表現 に関するものを含む。)	基礎日本語学 I (国語表現法を含む) 基礎日本語学 II (音声言語を含む) 日本語文法論 日本語史	2 2	2 2	
(イ) 教科及び教科の指導法に	科に関する専門的事	国文学(国文学史を含む。)	日本文学概説 古文講読 古典文学史 近現代文学史 基礎講読古典文学 基礎講読近現代文学 日本古典文学演習 I 日本古典文学演習 I 近代文学演習	2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2	
法に関する科	項	漢文学	漢文基礎 中国文学講読 中国文学研究 中国文学演習	2	2 2 2	
目	目	本科及び教科の指導法に関する科 における複数の事項を合わせた 日容に係る科目				
		教科の指導法(情報通信技術の 用を含む。)	国語科指導法 I 国語科指導法 II	2 2		高一種 (書道) を取得し ない場合は、日本文学科 の「国語科指導法(基礎)」 を必ず履修すること。
			計	18	20	
			н	321	以上	

(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	是低攸但甾位粉	最低修得单位数 本学開講科目		拉数	備考	
(ソ) 旭11 焼則第00米のりに走める秤目	取囚修行事位数 平子用酶作日		必修	選択	加 专	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目	
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は	
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	AI・データサイエンス入門		2	いずれかを	
科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2	選択必修	
計	8	計	6	4		
司	0		8以上			

書道文化学科

高等学校教諭一種免許状 (書道)

	施行	規則に定める科目区分等	左記に対	対応す	る本学必修	5 科目
科	目	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	3年前期	
	教育	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	2年後期	
(ア) 教	教育の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	4年前期	
育	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	 教育心理学 	2	3年後期	
の基	る科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
礎 的		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	3年前期	
理	止、 岩	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3年後期	
解	生徒、	特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
に関	生徒指導、教育道徳、総合的な	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	3年後期	情報通信技術を活用した教 育の理論及び方法を含む
対す	育な 相学 談習	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法				
る	等に関するの時間等	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	3年前期	進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法を含む
科目	る科目の指導法及び	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	3年後期	
等	及 び	進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法				
		教育実習	教育実習Ⅱ	2	4年前期	
	関する科目	秋月天白	教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	お践り	学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2	4年後期	
			計	27		

	施	 近行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学対	応科目		
科	目	各科目に含めることが	授 業 科 目		立数	
区	分	必要な事項	<u> </u>	必修	選択	- σ
(イ) 教科及び教	教科に関する	書道(書写を含む。)	漢字書法 I (楷書) 漢字書法 I (行書) 漢字書法 I (草書) 漢字書法 I (篆書) 漢字書法 I (篆書) 漢字書法 I (蒙書) 仮名書法 I 漢字仮名交じり書法 I 創作書法 I (仮名) 篆刻法 I 実用書法 漢字書法Ⅲ(五書体) 書写教育概論	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 2	
科の	専	書道史	<u>日本書道史</u> 中国書道史	2 2		
指	門	「書論、鑑賞」	鑑賞 (書論を含む)	2		
導法に関する	的事項	「国文学、漢文学」	<u>日本文学概説</u> 古文講読 古典文学史 近現代文学史 <u>漢文基礎</u> 中国文学講読 中学文学研究 中国文学演習	2 2 2 2 2 2	2 2 2	
科目	目	対科及び教科の指導法に関する科 日における複数の事項を合わせた 日容に係る科目				
		- 教科の指導法(情報通信技術の 5用を含む。)	書道科指導法(基礎) 書道科指導法 I 書道科指導法 Ⅱ	2 2 2		
			計	34	9	

(占) 按定用即签CC久のC 17 完成 7 利日	是低族组出位数	★ ○	単位	立数	備考
(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数 本学開講科目 -		必修	選択	加 专
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	AI・データサイエンス入門		2	いずれかを
科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2	選択必修
함	8	計	6	4	
н	0	μΙ	8以上		

国際文化学科

中学校教諭一種免許状 (英語)

	施行	規則に定める科目区分等	左記に対	対応す	- る本学必修	※ 科目
科	E	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	3年前期	
	教育の	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	2年後期	
(ア) 教	の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	4年前期	
育	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学	2	3年後期	
の	科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
基礎		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	3年前期	
的		道徳の理論及び指導法	道徳教育	2	3年前期	
理	生道	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3年後期	
解	徒 徳、 指	特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
に	消 教育総合的な	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	3年後期	情報通信技術を活用した教 育の理論及び方法を含む
関	育相談等の	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法				
する	に関する時間等の	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	3年前期	進路指導及びキャリア 教育の理論及び方法を 含む
科目	科目と及び	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	3年後期	
等		進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法				
	教育		教育実習 I	2	4年前期	
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2	4年前期	
	に 関		教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	する	学校体験活動				
	科 目	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2	4年後期	
			計	31		

	——— 抗	 施行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学な	 応科目				
科	目分	各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目		立数	備	考	
	教	英語学	英文法 I 英文法 I 英語音声学 英語学入門	必 修 2 2 2 2	選 択 2			
(イ) 教	科に	英語文学	英米文学入門 世界文学鑑賞 英米文学と文化の流れ	2	2 2			
科及び教科の指導法	関する専門的事	英語コミュニケーション	Listening I Listening II Speaking Reading I Reading II Writing I Writing II Discussion & Debate Communication Skills	I 2 声学 2 入門 2 学経賞 2 学と文化の流れ 2 ng I 2 ng I 2 ng I 2 g I 2 g I 2 g I 2 g I 2 g II 2 y Chah 2 力文化論 2 オン文化論 2 バル社会におけるメディア 2 ランティア・国際平和論 2				
に関する	項	異文化理解	アジア文化論 アメリカ文化論 イギリス文化論 グローバル社会におけるメディア 国際ボランティア・国際平和論	2	2 2			
科目	E	対科及び教科の指導法に関する科 目における複数の事項を合わせた 対容に係る科目						
		S教科の指導法(情報通信技術の 5用を含む。)	英語教育 I (英語科指導法) 英語教育 II (英語科指導法) 英語教育 II (英語科指導法) 英語教育 IV (英語科指導法)	2 2 2 2				
			計	28	24			

ĺ		左記に対応する本学対応科				
	施行規則に定める科目区分等	授業科目	単 位 数		開講期	
		技 未 件 日	必修	選択		
	(ウ) 大学が独自に設定する科目	介護等体験事前事後指導	2		2 年後期	

(エ) 施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位	立数	備考
(工) 旭行 規則第60条の 6 に走める秤目	取以修行中世数	平子用 再行日	必修	選択	1 加 号
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	AI・データサイエンス入門		2	いずれかを
科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2	選択必修
計	8	計	6	4	
μi.	0	μΙ	8以上		

(ア) + (イ) + (ウ) + (エ) 合計 69単位以上

国際文化学科

高等学校教諭一種免許状 (英語)

	施行	規則に定める科目区分等	左記に対	対応す	る本学必修	5 科目
科	目	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	3年前期	
	教育の	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	2年後期	
(ア) 教	の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	4年前期	
育	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学	2	3年後期	
の基	る科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
礎 的		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	3年前期	
理	止、宋	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3年後期	
解	生徳、	特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
に	生徒指導、教育道徳、総合的な	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	3年後期	情報通信技術を活用した教 育の理論及び方法を含む
関す	育 相 学 習	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法				
る	等に関する時間等	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	3年前期	進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法を含む
科目	る科目 の指導法及び	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	3年後期	
等	及 び	進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法				
			教育実習Ⅱ	2	4年前期	
	関する科目	教育実習	教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	お践り	学校体験活動				
	□ (~	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2	4年後期	
			計	27		

	折		左記に対応する本学対	応科目			
科区		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位 必 修	立数 選 択	備	考
	教	英語学	英文法 I 英文法 II 英語音声学 英語学入門	2 2 2	2		
(イ) 教 科	科に	英語文学	英米文学入門 世界文学鑑賞 英米文学と文化の流れ	2	2 2	択	
	関する専門的事項	英語コミュニケーション	Listening I Listening II Speaking Reading I Reading II Writing I Writing II Discussion & Debate Communication Skills 国際文化入門 アジア文化論 アメリカ文化論	2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2		
9 る 科 目		女科及び教科の指導法に関する科	イギリス文化論 グローバル社会におけるメディア 国際ボランティア・国際平和論	2	2 2		
	E	目における複数の事項を合わせた 内容に係る科目					
		S教科の指導法(情報通信技術の 活用を含む。)	英語教育 I (英語科指導法) 英語教育 II (英語科指導法)	2 2			
			計·	24	24		
				321	以上		

(ウ) 施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	大学問課利日	単位数		備考	
(ソ) 旭11 焼削 第60条の 6 に足める 作日	取囚疹行事也效	五数 本学開講科目		選択	加 专	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目	
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は	
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	AI・データサイエンス入門	いずれかを			
科目又は情報機器の操作	۷	情報リテラシー		2	選択必修	
計	8		6	4		
Π	0	計	8以上			

経営情報学科

高等学校教諭一種免許状 (情報)

	施行	規則に定める科目区分等	左記に対	対応す	る本学必修	5 科目
科	目	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	3年前期	
	教育の	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	2年後期	
(ア) 教	の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	4年前期	
育	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学	2	3年後期	
の基	る科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
礎 的		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	3年前期	
理	止、宋	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3年後期	
解	生 徒、	特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
に	生徒指導、教育道徳、総合的な	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	3年後期	情報通信技術を活用した教 育の理論及び方法を含む
関す	育相談等の	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法				
る	寺に関すの時間等	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	3年前期	進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法を含む
科目	る科目の指導法及び	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	3年後期	
等	及 び	進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法				
		教育実習	教育実習Ⅱ	2	4年前期	
	関する科目	 秋月天白 	教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	お践り	学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2	4年後期	
			計	27		

	——— 加	<u></u> 施行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学対	 :応科目		
科		各科目に含めることが			立数	Alle Le
区		必要な事項	授業科目	必修	選択	備考
(1)	教科	情報社会(職業に関する内容を 含む。)・情報倫理	情報社会論 AIと経営情報学 ICT活用論 インターネットビジネス プレゼンテーション演習	2 2 2	2 2	
教科及	に関	コンピュータ・情報処理	情報科学概論 I 情報科学概論 Ⅱ	2 2		
び 教 科	する専	情報システム	経営情報システム論 会計情報論 生産システム論 流通システム	2	2 2 2	
の指導法	門的事	情報通信ネットワーク	ネットワーク基礎 <u>コンピュータネットワーク論 I</u> コンピュータネットワーク論 II クラウドネットワーキング	2 2	2	メディア
に関する	項	マルチメディア表現・マルチメ ディア技術	マルチメディア論 コンピュータシミュレーション 画像処理概論 映像音響処理及び音響技術	2 2	2 2	情報学科で開設
科目	E	放科及び教科の指導法に関する科 目における複数の事項を合わせた 内容に係る科目				
		・教科の指導法(情報通信技術の	情報科指導法 I	2		
	涫	5月を含む。)	情報科指導法Ⅱ	2		
			÷1.	24	18	
			計	321	以上	

(占) 按征册则签CC久のC 17 完成 7 利日	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備考	
(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	取囚修行平位奴	平子用神科日	必修	選択	7/用 号	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目	
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は	
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	AI・データサイエンス入門	-	いずれかを		
科目又は情報機器の操作	۷	情報リテラシー		2	選択必修	
計	8	計	6	4		
司	0		لا 8	以上		

経営情報学科

高等学校教諭一種免許状 (商業)

	施行	規則に定める科目区分等	左記に対	対応す	る本学必修	§ 科目
科	目	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	3年前期	
	教育の	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	2年後期	
(ア) 教	の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	4年前期	
育	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学	2	3年後期	
の基	る科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
礎的		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	3年前期	
理	止、 岩	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3年後期	
解	生徒、	特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
に	生徒指導、教育道徳、総合的な	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	3年後期	情報通信技術を活用した教 育の理論及び方法を含む
関す	育相談等の	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法				
る	寺に関すの時間等	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	3年前期	進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法を含む
科目	の指導法及び	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	3年後期	
等	及 び	進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法				
		教育実習	教育実習Ⅱ	2	4年前期	
	関する科目	秋月天白 	教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	お践り	学校体験活動				
	□ (~	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2	4年後期	
			計	27		

	施	 i行規則に定める科目区分等	左記に対応する本質	学対応科目			
科	Ħ	各科目に含めることが	授 業 科 目	単位	立数	備	-1×.
区	分	必要な事項	授 業 科 目	必修	選択	7/用	考
(イ) 教科及び教科の指導法に関す	教科に関する専門的事項	商業の関係科目	経営学総論 I 簿記論 I 簿記論 I 簿記論 I 簿記論 I 経営空論 I 経営党会 経税法 マーケティング論 I マーケテ教業	2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
る科		職業指導	職業指導	2			
目	目	科及び教科の指導法に関する科における複数の事項を合わせた 容に係る科目					
		教科の指導法(情報通信技術の	商業科指導法 I	2			
	活	用を含む。) 	商業科指導法Ⅱ	2			
			함T	24	22		
			н	321	以上		

(ウ) 施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位数		備考	
(7) 旭11 規則第60条のもに定める秤目	取囚疹行事也效	平子用 再行日	必修	選択	加考	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目	
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2			
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	AI・データサイエンス入門		2	いずれかを	
科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2	選択必修	
칶	8		6	4		
計	0	計	لا 8	以上		

メディア情報学科

高等学校教諭一種免許状 (情報)

	施行	規則に定める科目区分等	左記に対	対応す	る本学必修	5 科目
科	目	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	3年前期	
	教育の	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	2年後期	
(ア) 教	の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	4年前期	
育	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学	2	3年後期	
の基	る科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
礎 的		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	3年前期	
理	止、宋	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3年後期	
解	生 徒、	特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
に	生徒指導、教育道徳、総合的な	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	3年後期	情報通信技術を活用した教 育の理論及び方法を含む
関す	育相談等の	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法				
る	寺に関すの時間等	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	3年前期	進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法を含む
科目	る科目の指導法及び	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	3年後期	
等	及 び	進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法				
		教育実習	教育実習Ⅱ	2	4年前期	
	関する科目	 秋月天白 	教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	お践り	学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2	4年後期	
			計	27		

	——— 施		左記に対応する本学対	·応科目			
科		各科目に含めることが	授 業 科 目		立数	備	考
区	分	必要な事項 	情報科学概論 I	必 修 2	選択		
		含む。)・情報倫理	<u>I C T 活用論</u>	2			
(イ) 教 科	教科に	コンピュータ・情報処理	<u>情報科学概論Ⅱ</u> <u>ソフトウェア基礎論Ⅱ</u> ソフトウェア基礎論Ⅱ 情報処理入門 コンピュータアーキテクチャ	2 2 2	2 2		
及び教科	関する	情報システム	経営情報システム論 プログラミング基礎 プログラミング応用 情報システムプロジェクト演習	2 2	2 4		
かの指導	専門的	情報通信ネットワーク	ネットワーク基礎 <u>コンピュータネットワーク論 I</u> コンピュータネットワーク論 II クラウドネットワーキング	2 2 2	2		
法に関する科	市 項	マルチメディア表現・マルチメ ディア技術	マルチメディア論 コンピュータシミュレーション 画像処理概論 CGアニメーション 映像プロダクション演習 映像音響処理及び音響技術 メディアデザインプロジェクト演習	2 2 2	2 2 2 4		
目	教科及び教科の指導法に関する科 目における複数の事項を合わせた 内容に係る科目						
		・ ・教科の指導法(情報通信技術の	情報科指導法 I	2			
	12	所を含む。) 	情報科指導法Ⅱ	30	22		
			計	321			

(内) 佐奈田町笠CC久のCに売ぬて利日	是低坡组出荷粉	本学開講科目	単位	 立数	備考	
(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数 	平子用 神科日	必修	選択	7/用 号	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目	
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は	
		AI・データサイエンス入門		2	いずれかを	
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	₂ 情報リテラシー		2	選択必修	
科目又は情報機器の操作	_	パソコン基礎演習		2	メディア情報学科、 専門科目として開講	
計	6		4			
рļ	8	計	8以上			

メディア情報学科

高等学校教諭一種免許状 (商業)

	施行	規則に定める科目区分等	左記に対	対応す	る本学必修	§ 科目
科	目	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	3年前期	
	教育の	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	2年後期	
(ア) 教	の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	4年前期	
育	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学	2	3年後期	
の基	る科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
礎的		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	3年前期	
理	止、 岩	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	3年後期	
解	生 徒 徒 、	特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
に	生徒指導、教育道徳、総合的な	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	3年後期	情報通信技術を活用した教 育の理論及び方法を含む
関す	育相談等の	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法				
る	寺に関すの時間等	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	3年前期	進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法を含む
科目	の指導法及び	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	3年後期	
等	及 び	進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法				
		教育実習	教育実習Ⅱ	2	4年前期	
	関する科目	秋月天白 	教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	お践り	学校体験活動				
	□ (~	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2	4年後期	
			計	27		

	施		左記に対応する本学	対応科目			
科		各科目に含めることが	授業科目		立数	備	考
区	分	必要な事項	技 朱 行 日	必修	選択	PH	15
(イ教科及び教科の指導法に関す	教科に関する専門的事項	商業の関係科目	マーケティング論 I マーケティング論 I ウェブデザイン実務演習 ウェブサイト作成管理演習 経営学総論 I 会社法 国際経営論 簿記論 I 簿記論 I 簿記論 I 簿記論 I 等に が サイエンス基礎 データベース に ジェブリズムとデータ で デェブリズムとデータ 構造 e ビジネス実務後演習 ビジネス実務演習 ビジネス実務演習	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4		
る		職業指導	職業指導	2			
科目	目	(科及び教科の指導法に関する科 における複数の事項を合わせた 容に係る科目					
	各教科の指導法(情報通信技術の		商業科指導法 I	2			
	活	 用を含む。) 	商業科指導法Ⅱ	2			
			計	18	30		
			FI.	321	以上		

(中) 按行用則符66条の612字以7利日	最低修得単位数	本学開講科目	単位	立数	備考		
(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	取囚修行平位奴	平子用神符日	必修	選択	1 1/11 45		
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目		
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は		
		AI・データサイエンス入門		2	いずれかを		
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	情報リテラシー		2	選択必修		
科目又は情報機器の操作	_	パソコン基礎演習		2	メディア情報学科、 専門科目として開講		
計	8	計	6	4			
ΠĪ	8		8以上				

健康栄養学科

栄養教諭一種免許状

	施行	規則に定める科目区分等	左記に対	対応す	る本学必修	§科目
科	I	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	2年前期	
	教育の	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	1年後期	
(ア) 教	の基礎的理解に関する科目	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	2年前期	
育の	に関する	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学	2	2年後期	
基	る科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
礎 的		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	3年前期	
理	び道	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別	道徳教育	2	3年前期	
解	び生徒指導、総合は		総合的な学習の時間	2	3年後期	
に	, H/J	活動に関する内容	特別活動	2	2年後期	
関す	教育相談等に関な学習の時間等	教育の方法及び技術(情報機器 及び教材の活用を含む。)	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	2年後期	
る	渕 守	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (進路指導を含む。)	2	2年前期	
科目	する科目の内容及	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	2年後期	
等	関教	光	栄養教育実習 I	1	4年前期	
	育実	栄養教育実習	栄養教育実習Ⅱ	1	4年後期	事前及び事後の指導
	関する科目教育実践に	教職実践演習	教職実践演習 (栄養教諭)	2	4年後期	
			計	28		

施	行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学対応科目										
科目	各科目に含めることが	授	業	科	Ħ			単位	立数		備	考
区分	必要な事項	12	木	11			必	修	選	択	VHI	77
(イ) ^題	栄養教諭の役割及び職務内容に 関する事項	学校栄養教育 I	(基礎)				2	2				
常業の科に	幼児、児童及び生徒の栄養に係 る課題に関する事項	学校栄養教育Ⅱ	(応用)				:	2				
関する科目栄養に係る教育に	食生活に関する歴史的及び文化 的事項											
育に	食に関する指導の方法に関する 事項											
			計				4	4				

(ウ) 施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	本学開講科目	単位	立数	備考
(7) 旭日 規則第00米の 0 に定める村日	取囚疹行手匹奴	平子用	必修	選択)/m 45
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する	9	AI・データサイエンス入門		2	いずれかを
科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2	選択必修
計	Q	計	6	4	
П	0	рI	81	以上	

児童学科

幼稚園教諭一種免許状

	施行	規則に定める科目区分等	左記	に対応	ふする	本学対応科	∃
科	· 目	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目		立数 選択	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する	教育原論	2		1年前期	
		歴史及び思想	児童教育学		2	3年後期	
(ア)	教育の	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	保育者論	2		1年後期	
教	の基礎的	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との	教育経営論	2		4年前期	
育	的理解	連携及び学校安全への対応を含む。)	人権教育論		2	4年前期	
0)	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発	発達と教育の心理学	2		2年後期	
基	う る 科	達及び学習の過程	発達心理学		2	3年前期	
礎的	Ī	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育・保育論	2		2年前期	
理解		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	保育カリキュラム論	2		2年後期	
に	び生徒指導、教育相談等に関する科目道徳、総合的な学習の時間等の指導法及	教育の方法及び技術(情報機器 及び教材の活用を含む。)	教育の方法及び技術	2		3年前期	
関	教育相談	幼児理解の理論及び方法	幼児理解の理論及び方法	1		3年後期	
す	等に関する時間等のお	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)の	教育相談 I	1		3年後期	
る	3科目 及	理論及び方法	教育相談Ⅱ	1		3年後期	
科	教育		教育実習 I	2		3年後期	
目	教育実践	教育実習	教育実習Ⅱ	2		4年前期	
等	に関す		教育実習指導(幼)	2		3年前期	事前及び事後の指導
	関する科目	学校体験活動					
	1 目	教職実践演習	保育·教職実践演習(幼)	2		4年後期	
			計	25	6		

	—— 施	近行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学対	応科目			
科区		各科目に含めることが 必要な事項	授 業 科 目	単位 必 修	立数 選 択	備	考
		健康	 子どもと健康	业 %	選 <u></u>		
(イ) 領	領域に	人間関係	子どもと人間関係		1		
域	関	環境	子どもと環境		1		
及び	する専				1		
保	門的東	言葉	子どもと言葉	1			
育内	事項	表現	子どもと表現		1		
容の指	目は	成及び保育内容の指導法に関する科 こおける複数の事項を合わせた内容 系る科目					
導法に関する科目		育内容の指導法 報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容(健康) 保育内容(人間関係) 保育内容(環境) 保育内容(言葉) 保育内容(表現) I 保育内容(表現) I 保育内容総合	2 2 2 2 2 2 2 2			
			함·	15	4		
			НI	16J	以上		

	左記に対応する本学対応科目			
施行規則に定める科目区分等	授業科目	単 位 数		
	技 未 件 日	必修	選択	
	音楽(声楽)		2	
	音楽 (器楽)		2	
(ウ) 大学が独自に設定する科目	音楽(弾き歌い)		2	
	音楽教育		2	
	図画工作		2	

※最低修得単位数 (ア) + (イ) + (ウ) 計51単位のうち、(イ) については16単位以上修得し、不足する10単位分については (ア) ~ (ウ) の選択科目を修得すること。

(エ) 施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	低修得単位数 本学開講科目 -		立数	備考	
(工) 施打規則第00条のもに定める件目	取以修行中世数	平子用 再行日	必修	選択	加 号	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目	
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は	
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	AI・データサイエンス入門		2	いずれかを	
科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2	選択必修	
計	8	計	6	4		
П	0		8以上			

(ア) + (イ) + (ウ) + (エ) 合計 59単位以上

児童学科

小学校教諭一種免許状

	施行	規則に定める科目区分等	左記	に対応	でする	本学対応科	·目
科	- II	各科目に含めることが	授業科目	単作	立数	開講期	備考
,,,	—	必要な事項	业 业		選択	N13 H13 N93	VIII -5
		教育の理念並びに教育に関する	教育原論	2		1年前期	
		歴史及び思想	児童教育学		2	3年後期	
	教 育	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2		1年後期	
	の	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との	教育経営論	2		4年前期	
	基礎的理解	度 連携及び学校安全への対応を含 む。)	人権教育論		2	4年前期	
<i>(</i>)	解に関		発達と教育の心理学	2		2 年後期	
(ア)	関する	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学		2	2年前期	
教	する科目		発達心理学		2	3年前期	
育の	Ī	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	2		2年後期	
の		教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論 I	1		3 年後期	
基		(カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論Ⅱ	1		3年後期	
礎		道徳の理論及び指導法	道徳教育	2		2年前期	
的		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間	2		3 年後期	
理	生道徒徳	特別活動の指導法	特別活動	2		3 年後期	
解に	生徒指導、教育道徳、総合的な	教育の方法及び技術	教育方法論(ICT活用 を含む。)	2		2年後期	情報通信技術を活用した 教育の理論及び方法を含む
関	教育相談的な学習	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法					
する	等に関すの時間等	Ø) 時	生徒指導論(進路指導 を含む。) I	1		3年前期	進路指導及びキャリ ア教育の理論及び方
科	する科目 等の指導法及び	工作用等少在删入0万亿	生徒指導論(進路指導 を含む。) Ⅱ	1		3年前期	法を含む
目	日場法	教育相談(カウンセリングに関	教育相談 I	1		3年後期	
等	及び	する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談Ⅱ	1		3年後期	
		進路指導及びキャリア教育の 理論及び方法					
	教育		教育実習 I	2		3年後期	
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅱ	2		4年前期	
	に関		教育実習指導 (小)	1		3年前期	事前及び事後の指導
	守る	学校体験活動					
	科目	教職実践演習	教職実践演習(小)	2		4 年後期	
		1	計	31	8		
			1				

	施		左記に対応する本学対	·応科目		
科	Т	各科目に含めることが		単作	立数	AH14
区		必要な事項	授 業 科 目	必修	選択	備考
		国 語(書写を含む。)	国語科概論(書写を含む。)		2	
		社 会	社会科概論		2	
	教	算 数	算数科概論		2	
	科	理科	理科概論		2	
(1)	に 関	生 活	生活科概論		2	
教科	する 専	音 楽	音楽(声楽) 音楽(器楽) 音楽(弾き歌い) 音楽教育		2 2 2 2	選択科目の中から10単位以
及	門的東	図画工作	図工教育 図画工作		2 2	上選択必修
び	事項	家 庭	生活科学概論 家庭科概論		2 2	
教		体 育	体育教育		2	
科		外国語	外国語教育概論(英語)		2	
の指	には	科及び教科の指導法に関する科目 おける複数の事項を合わせた内容 系る科目	計·		30	
導	各教	国 語(書写を含む。)	教科指導法 I (国語) 教科指導法 II (国語)	2	2	
法	教科の	社会	教科指導法 I (社会) 教科指導法 II (社会)	2	2	
ĸ	指導法	算 数	教科指導法 I (算数) 教科指導法 II (算数)	2	2	
関	信	理科	教科指導法 I (理科) 教科指導法 II (理科)	2	2	
す	報通	生 活	教科指導法 (生活)	2		
る	信技術	音 楽	教科指導法 I (音楽) 教科指導法 II (音楽)	2	2	
科	:の活用	図画工作	教科指導法 I (図画工作) 教科指導法 II (図画工作)	2	2	
	用を含	家 庭	教科指導法 (家庭)	2		
	含む。)	体 育	教科指導法 I (体育) 教科指導法 II (体育)	2	2	
	•	外国語	教科指導法 (英語)	2		
			計	20	14	

		左記に対応する本学対応科			
l	施行規則に定める科目区分等	授業科目	単 位	. 数	開講期
١		授業科目	必修	選択	
I	(ウ) 大学が独自に設定する科目	介護等体験事前事後指導	2		2 年後期

(エ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	 最低修得単位数	最低修得単位数 本学開講科目		立数	備考	
(工) 旭门观别和00米》 0 に足のる有目	双 医 沙 付 平 匹 奴	十一	必修	選択	E CHILD	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目	
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は	
数理、データ活用及び人工知能に関する	9	AI・データサイエンス入門		2	いずれかを	
科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2	選択必修	
÷L	0	÷L	6	4		
計	8	計	8 1	以上.		

(ア) + (イ) + (ウ) + (エ) 合計 71単位以上

看護学科

高等学校教諭一種免許状 (看護)

	施行	規則に定める科目区分等	左記に対	対応す	る本学必修	多科 目
科	· []	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	2年前期	
	教育の	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	1年後期	
(ア) 教	の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	2年前期	
育の	に関する科	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学	2	2年後期	
の基	科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
礎的		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	2年前期	
理	л. \ ¥	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間	2	2年後期	
解	生道徒	特別活動の指導法	特別活動	2	2年後期	
に	·徒指導、教育 ·徒指導、教育的な	教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	2年後期	情報通信技術を活用した教 育の理論及び方法を含む
関す	育相談等の	情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法				
る	寺に関すの時間等	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	2年前期	進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法を含む
科目	る科目の指導法及び	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	2年後期	
等	及 び	進路指導及びキャリア教育の理 論及び方法				
		教育実習	教育実習Ⅱ	2	4年前期	
	関する科目教育実践に	秋月天日 	教育実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	を表出し	学校体験活動				
		教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2	4年後期	
			計	27		

	施	行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学類	寸応科目			
科目	1	各科目に含めることが	授 業 科 目	単作	立数	備	考
区分	子	必要な事項	投 未 付 日 	必修	選択	7/用	45
教	教科	「生理学、生化学、病理学、 微生物学、薬理学」	身体の構造と機能 I 身体の構造と機能Ⅱ 生化学 微生物学 薬理学	2 2 2 2 2			
及び教科の指導法	に関する専門的事項	看護学 (成人看護学、老年看護学及び 母子看護学を含む。)	看護学概論 ヘルスアセスメント 看護理論演習 成人看護学概論 老年看護学概論 成人保健論 老年保健論 母性看護学概論 中性看護学概論 中性保健論 母性保健論 在宅護機論 看護倫理	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1			
に 関 す -		看護実習	成人看護学実習 I (慢性期) 小児看護学実習	3 2			
9 る 科	教科及び教科の指導法に関する科 目における複数の事項を合わせた 内容に係る科目						
目	各	教科の指導法(情報通信技術の	看護科指導法 I	2			
	活	用を含む。)	看護科指導法Ⅱ	2			
			計	32			

(ウ) 施行規則第66条の6に定める科目	最低修得単位数	単位数 本学開講科目		立数	備考	
(7) 旭11 規則第60条のもに定める将日	取囚修行事业数	平子用 再行日	必修	選択	加 专	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目	
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は	
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	AI・データサイエンス入門		2	いずれかを	
科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2	選択必修	
計	8	計	6	4		
司	0		8以上			

看護学科

養護教諭一種免許状

	施行	規則に定める科目区分等	左記に対	対応す	る本学必修	S 科目
科		各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	開講期	備 考
		教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論	2	2年前期	
	教育の	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	教職基礎	2	1年後期	
(ア) 教	の基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)	教育経営論	2	2年前期	
育	に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程	教育心理学	2	2年後期	
の 基	科目	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育基礎論	2	2年後期	
礎的		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	教育課程論	2	2年前期	
理	び道生徳	道 徳 道徳、総合的な学習の時間及び	道徳教育	2	3年前期	
解	生徒総指総	総合的な探究の時間並びに特別 活動に関する内容	総合的な学習の時間	2	2年後期	
ic l	·徒指導、就 心、総合的 ·	(日勤に因する的社)	特別活動	2	2年後期	
関	教育相談等に関する学習の時間等の	教育の方法及び技術(情報機器 及び教材の活用を含む。)	教育の方法及び技術(情報 通信技術の活用を含む。)	2	2年後期	
する	等に関す	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を 含む。)	2	2年前期	
科目	する科目の内容及	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	教育相談	2	2年後期	
等	教育		養護実習I	2	4年前期	
ন	実践	養護実習	養護実習Ⅱ	2	4年前期	
	教育実践に関する科目		養護実習Ⅲ	1	4年前期	事前及び事後の指導
	するゴ	学校体験活動				
	付 目 ———————————————————————————————————	教職実践演習	教職実践演習(養護教諭)	2	4年後期	
			計	31		

於	近行規則に定める科目区分等	左記に対応する本学対	応科目		
科目	各科目に含めることが ・			立数	備考
区分	必要な事項	女 未 件 日 	必修	選択	7 加
	衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	<u>公衆衛生学</u> 保健統計学 疫学 I	1 2 1		予防医学を含む
	学校保健	学校保健 I (総論) 学校保健 II (方法論)	1 1		
(イ)	養護概説	養護概説 I (総論) 養護概説 II (方法論)	1 1		
養護	健康相談活動の理論・健康相談 活動の方法	健康相談活動論 I (総論) 健康相談活動論 II (方法論)	1 1		
ız	栄養学(食品学を含む。)	栄養学	2		
関	解剖学・生理学	身体の構造と機能 I 身体の構造と機能 II	2 2		
する	「微生物学、免疫学、薬理概論」	微生物学 <u>薬理学</u>	2 2		
科	精神保健	小児保健論 精神保健論	1 1		
目	看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	看護学概論 生活行動援助方法 I 生活行動援助方法 II 成人看護学概論 母性看護学概論 小児看護学概論 基礎看護学実習 I (看護の対象・環境) 小児看護学実習	1 2 1 1 1 1 1 2		救急処置 臨床実習 臨床実習
		計	32		

(占) 按信用則符CC久のCに合めて利口	是低板组出位粉	·数 本学開講科目		 立数	備考	
(ウ) 施行規則第66条の 6 に定める科目	最低修得単位数	平子用神科日	必修	選択	1/用 号	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		全学共通科目	
体育	2	健康スポーツ	2		にて開講	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2		※選択科目は	
数理、データ活用及び人工知能に関する	2	AI・データサイエンス入門		2	いずれかを	
科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2	選択必修	
計	8	計	6	4		
н	0		8以上			